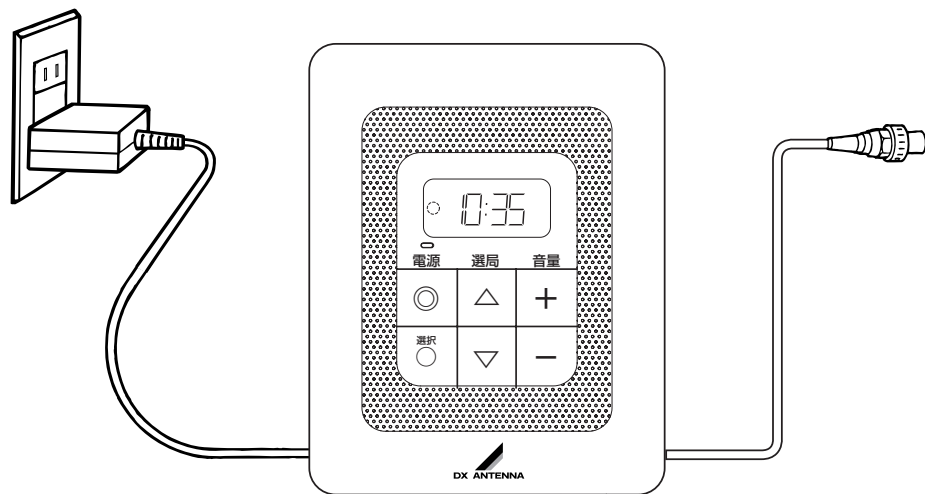
取扱説明書

このたびはDXアンテナ製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。

DXアンテナの製品を正しく理解し、ご使用いただくために、
ご使用の前に必ずこの取扱説明書をよくお読みください。
お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保存してください。

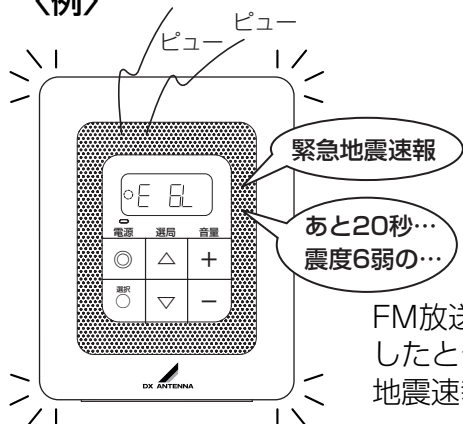
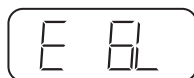
緊急地震速報システム

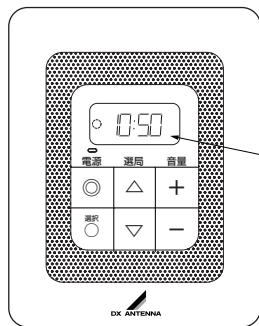
緊急告知放送端末装置
RKW30J

- 気象庁からの緊急地震速報データを受信し、この製品設置場所の震度と到達までの時間を予測して、ただちに音声とフラッシュライト（赤）の点滅でお知らせします。
- FMラジオ放送の緊急告知機能により、役所や消防署からの災害情報など重要な情報をお知らせする用途にも利用できます。
- 通常時はFM放送をケーブルテレビで聞くことができ、非常時は持ち出して電池動作で聞くことができます。
- 簡易懐中電灯として使用できます。
- FMラジオ電源切（OFF）時は、現在時刻を表示します。

目　　次

緊急地震速報

気象庁から発信された緊急地震速報をご加入のケーブルテレビ局を通じて本体が受信し、予め定められた震度以上となることが予測される時、フラッシュライト（赤）が点滅し予測震度と地震到達までの予測猶予時間を最大音量でお知らせします。（ラジオ電源の「入」「切」に関係なくメッセージが流れます。）

〈例〉

FM放送や告知放送受信中に緊急地震速報を受信したときは、FM放送や告知放送を消音して緊急地震速報のメッセージが流れます。

緊急地震速報終了後は元の状態に戻ります。

ラジオ電源「切」のときに緊急地震速報を受信した場合は、メッセージを終了後は現在時刻を表示します。

「現在時刻」表示

または

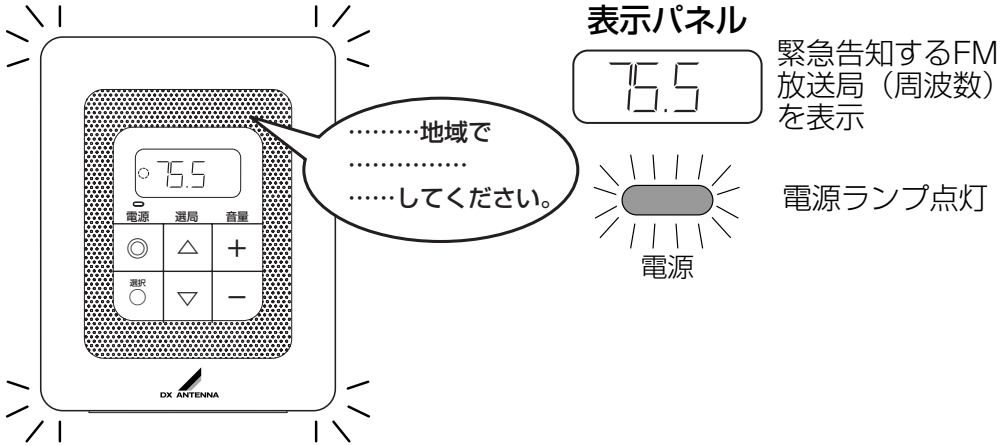
ラジオ電源「入」のときに緊急地震速報を受信した場合は、メッセージを終了後FM放送や告知放送に戻ります。

〈表示パネルと予測震度〉

表示パネル	予測震度
E 7	震度7
E 6H	震度6強
E 6L	震度6弱
E 5H	震度5強
E 5L	震度5弱
E 4	震度4
E 3	震度3

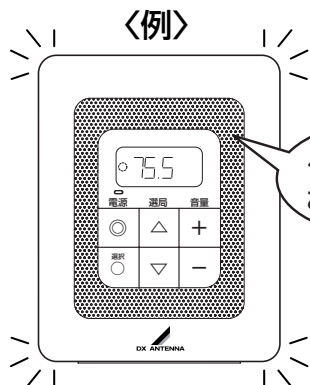
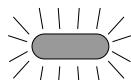
告知放送　－緊急告知放送－

（告知放送機能は、ご加入のケーブルテレビ局が告知サービスを行なっている場合に限ります。）
行政・警察・消防などから、非常時に緊急告知する場合に使用され、ラジオ電源の「入」「切」に関係なく自動的に電源が入り、フラッシュライト（赤）が点滅し緊急告知放送が最大音量で流れます。この時、本体ボタンの操作は無効となりますので、ラジオ電源「切」や音量などの調整はできません。

〈例〉

⇩
緊急告知放送終了後は受信前の状態に戻ります。

※緊急告知放送中に緊急地震速報を受信したときは、緊急地震速報を優先してお知らせします。（⇨P3）

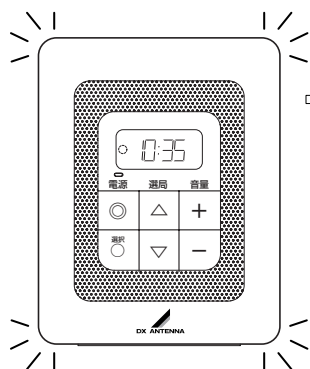
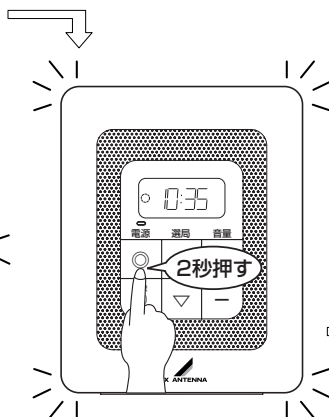
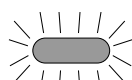
告知放送　ー強制告知放送ー

強制告知サービスをする場合に使用され、フラッシュライト（赤）の点滅でお知らせします。
この時、自動的にラジオの電源は「入」になりますが、本体ボタンの操作で音量の調整、ラジオの選局やラジオ電源「切」にすることもできます。
（音量を「0」にしていた場合は聞くことができません。）

FM放送受信中は告知放送受信に自動的に変わります。

⇩

強制告知放送終了後は元の状態に戻ります。

告知放送　ー通常告知放送ー

通常告知サービスをする場合に使用され、フラッシュライト（赤）の点滅または点灯でお知らせします。ラジオ電源を「入」にすると告知放送を聴くことができます。本体ボタンの操作で音量の調整、ラジオの選局もできます。

フラッシュライト点滅中に◎ボタンを2秒間長押しすると告知放送が流れます。

FM放送受信中は告知放送受信に自動的に変わります。

通常告知放送終了後は元の状態に戻ります。

各部の名称

〈本体正面〉

表示パネル
現在時刻（電源OFF時）
FM受信周波数（電源ON時）
予測震度（緊急地震速報受信時）
等を表示します。

ライト点灯位置
うら側のスイッチを入れると点灯します。
目を傷めるおそれがありますので直視しないでください。

ラジオ電源ランプ
ラジオ電源を入れると点灯します。
（点滅しているときはP18を参照してください。）

ラジオ電源ボタン
2秒間の長押しで
ラジオを入↔切します。

選択ボタン
（設置時のみ使用）

フラッシュライト（赤）
緊急地震速報または
告知放送受信時に点
灯します。

音量ボタン
＋ボタンを押すと音が大きくなります。
－ボタンを押すと音が小さくなります。
（⇨P11参照）

ラジオ選局ボタン
△または▽ボタンを2秒間押すと自動で放送局を選びます。
△ボタンをポンと短く押すと0.1MHz（100kHz）ずつ上側に受信周波数がかわります。
▽ボタンをポンと短く押すと0.1MHz（100kHz）ずつ下側に受信周波数がかわります。

お好みの放送局を受信するまで△ボタンまたは▽ボタンを繰り返し押してください。

〈付属品〉

ACアダプタ　　1個
同軸ケーブル　1本
単4アルカリ乾電池　8本
（FMラジオ用6本、ライト用2本　いずれも動作確認用です。）
取扱説明書　1部

各部の名称

〈本体うら側〉

壁面取付フック

ライトスイッチ
切 ↔ 入

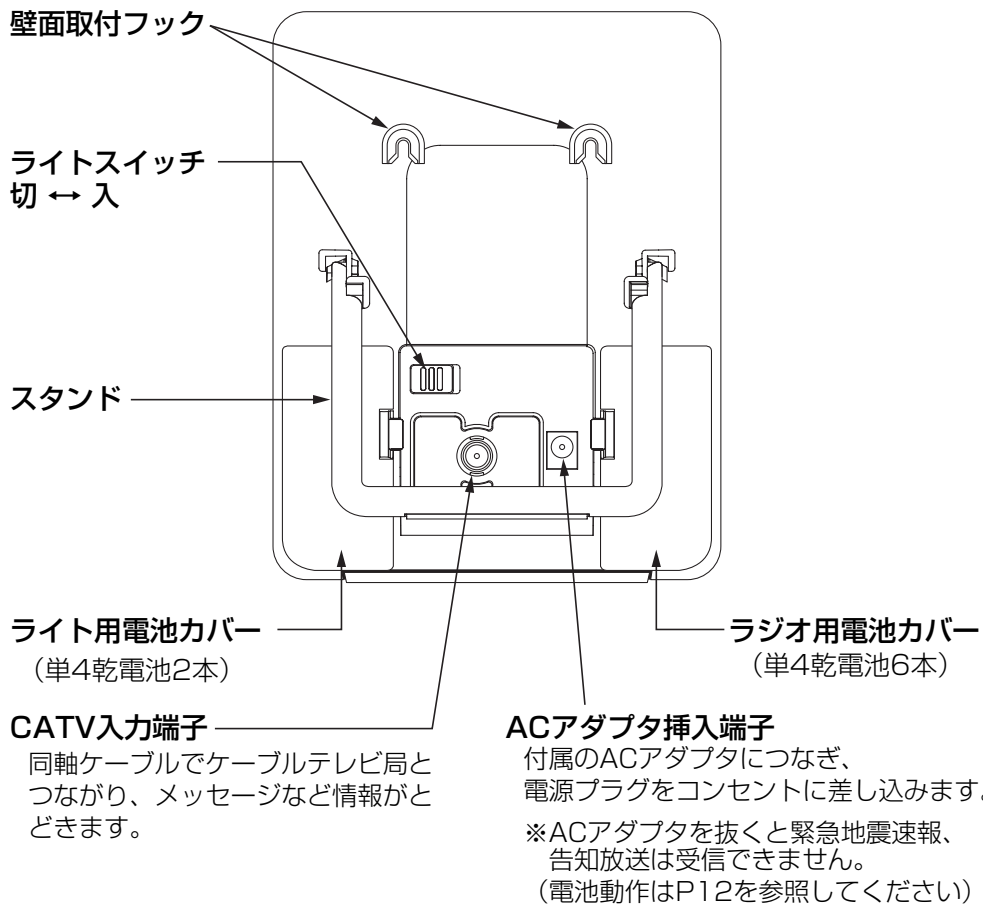
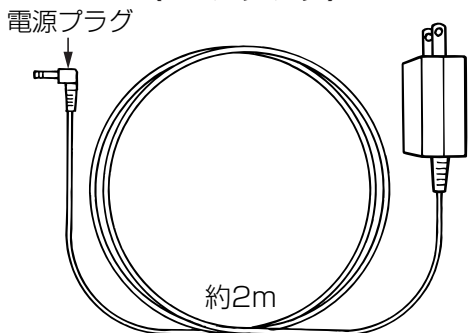
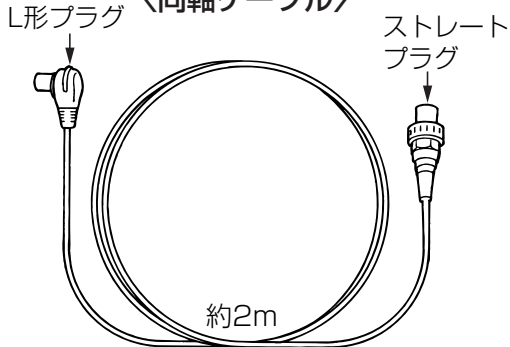
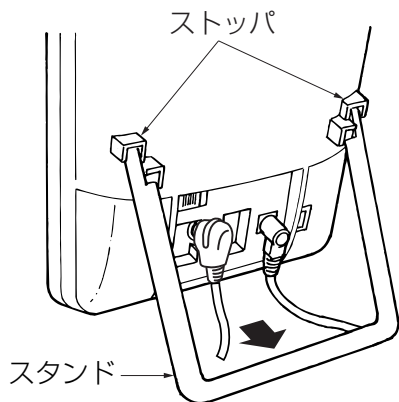
スタンド

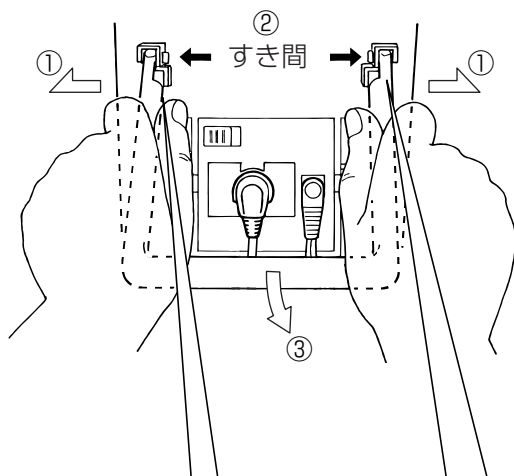
ライト用電池カバー
（単4乾電池2本）

ラジオ用電池カバー
（単4乾電池6本）

CATV入力端子
同軸ケーブルでケーブルテレビ局とつながり、メッセージなど情報がとどきます。

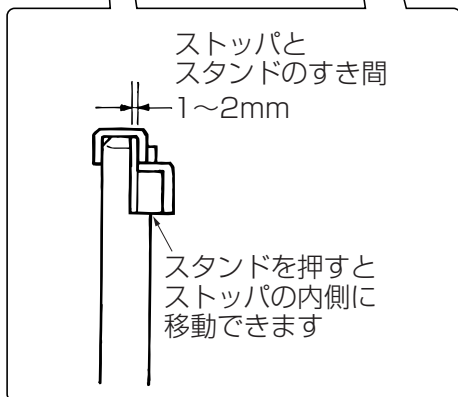
ACアダプタ挿入端子
付属のACアダプタにつなぎ、
電源プラグをコンセントに差し込みます。

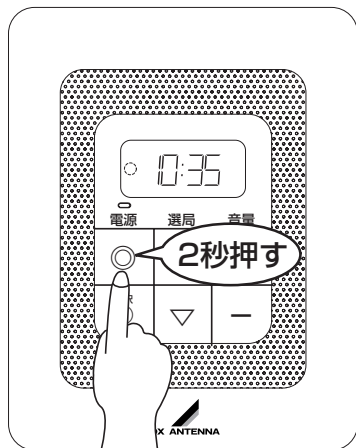
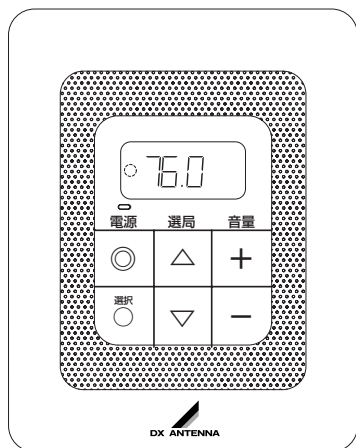
※ACアダプタを抜くと緊急地震速報、
告知放送は受信できません。
（電池動作はP12を参照してください）

〈ACアダプタ〉

〈同軸ケーブル〉

スタンド

スタンドを立てるときは、スタンドの下側をうしろへ引きます。
ストッパで止まるところまでスタンドを引き出してください。

スタンドを本体側に折りたたむときは

①スタンドの左右を持ち軽く外側へ押し広げます。

②スタンドとストッパの間に1～2mmすき間を作ります。

③すき間ができるとスタンドを本体側に押して、スタンドを折り込みます。

FM放送を聞く　－ラジオの電源を入れる－

◎ボタンを2秒間長押しする

ラジオの電源が入り、前回聞いていた放送局（周波数）を受信します。
（初回のみ76.0MHzを受信）

現在時刻が消える

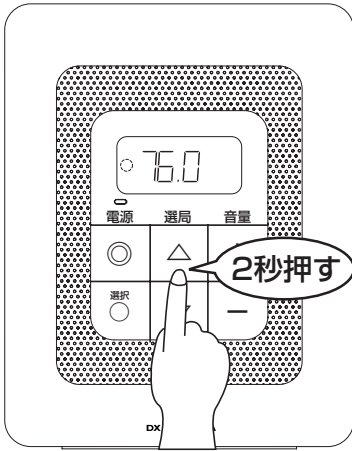
FM放送局（周波数）を表示

電源ランプ点灯

※電源ランプが点滅するときはP18を参照してください。

もう一度◎ボタンを2秒間押すとラジオの電源が切れます。
（表示パネルは現在時刻を表示します。）

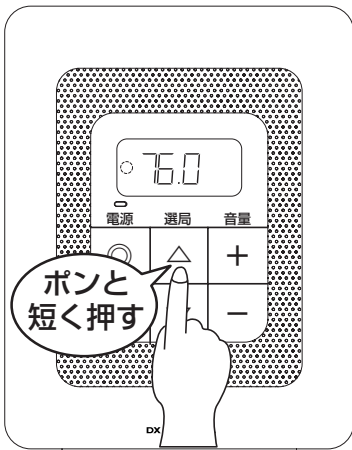
FM放送を聞く　－放送局を選ぶ－

①自動で放送局をさがす（サーチ）

▽または△ボタンを2秒間長押しする

自動的に次の放送局を
さがして受信します。

△ボタンは数字が大きい
（周波数が高い）方、
▽ボタンは数字が小さい
（周波数が低い）方の
放送局を受信します。

お好みの放送局を受信するまで△ボタンまたは▽ボタンを繰り返し長押ししてください。

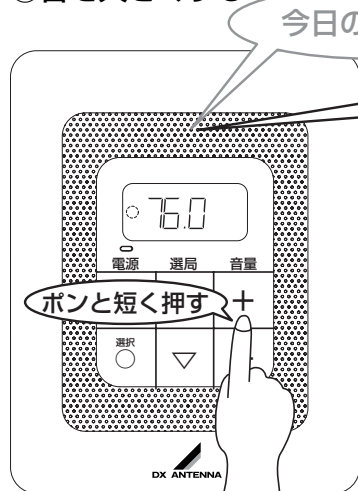
②周波数で放送局をさがす

▽または△ボタンをポンと短く押す

△ボタンは0.1MHz（100kHz）
ずつ大きい方の周波数を
▽ボタンは0.1MHz（100kHz）
ずつ小さい方の周波数を
受信します。

お好みの放送局を受信するまで△ボタンまたは▽ボタンを繰り返し押してください。

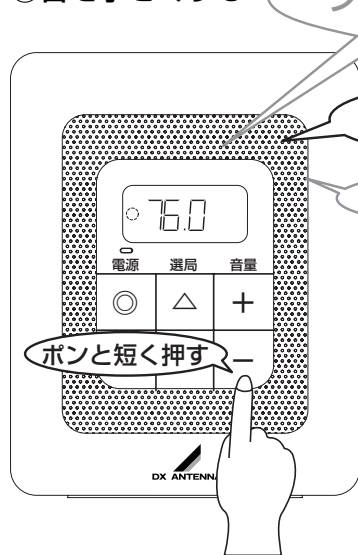
※選局中に告知放送や緊急地震速報があれば、告知放送・緊急地震速報になります。終了後、自動的に直前に選局した放送局にもどります。

FM放送を聞く　－音を大きく／小さくする－

①音を大きくする

＋ボタンをポンと短く押すと、押すたびに
音が大きくなります。
音の大きさは10段階（00～09）
設定できます。

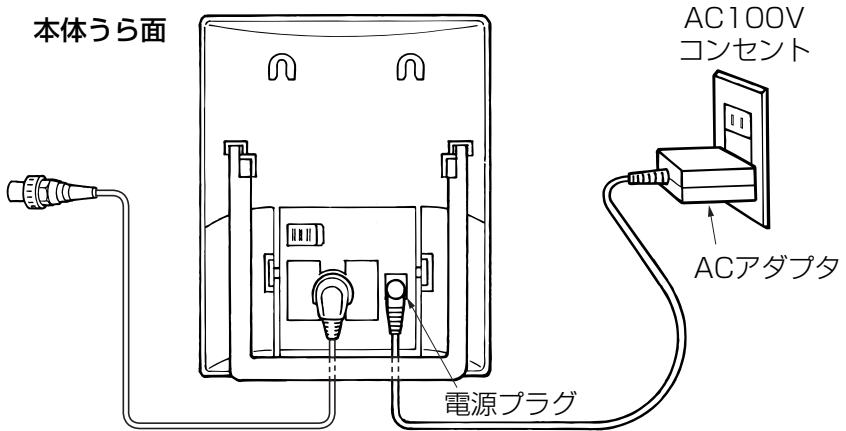
お好みの大きさになるまで
繰り返し押してください。

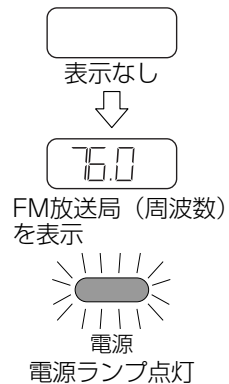
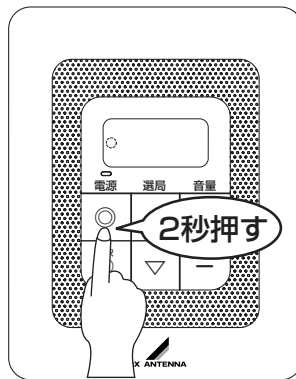
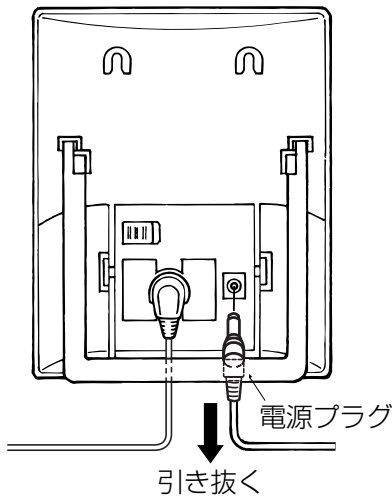
②音を小さくする

今日の天気は…
今日の天気は…
今日の天気は…
76.0
電源　選局　音量
ポンと短く押す
DX ANTENNA

－ボタンをポンと短く押すと、押すたびに
音が小さくなります。
音の大きさは10段階（00～09）
設定できます。

お好みの大きさになるまで
繰り返し押してください。

※緊急地震速報と緊急告知放送（役所や消防署からの災害情報など重要なお知らせ）は音の大きさを変更できません。

FM放送を聞く　－電池でラジオを聞く－

①ACアダプタの電源プラグを抜く。

②◎ボタン（電源ボタン）を2秒間長押しする。

（電池残量により表示パネルバックライトが点灯しないことがありますが、故障ではありません。）

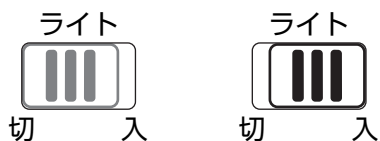
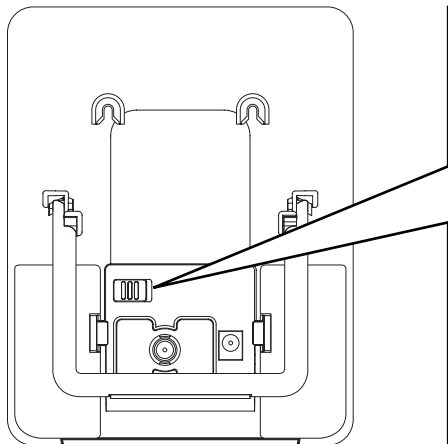
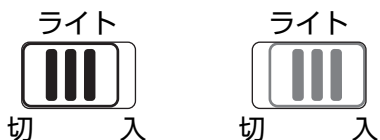
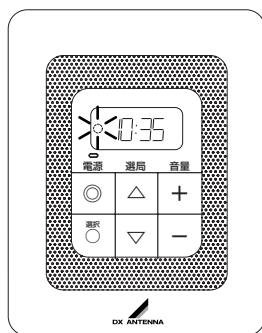
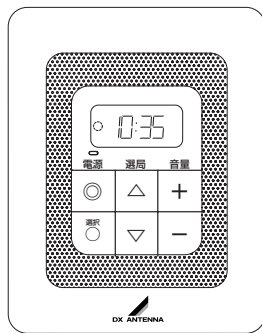
電池動作のラジオ電源が入ります。
△または▽ボタンを押して放送局を選んでください。
操作方法は通常時（ケーブルテレビ接続）と同じです。（⇨P10～11参照）

※電源プラグを抜くとラジオを聞いていない状態でも電池を消費しますので、緊急時の持ち出し時以外は、電源プラグを抜かないでください。

ライトを点ける

〈本体うら側〉

ライト　ライト

切　入　切　入

➡スイッチを右側にすると
ライトが点灯します。

⬅スイッチを左側にすると
ライトが消えます。

〈ご注意〉

表示パネルに

Lb: 1 または Lb: 2

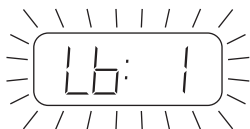
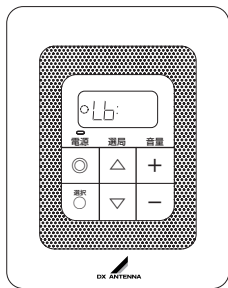
が点滅して表示されると電池切れです。新品の単4乾電池に交換してください。

Lb: 1：ラジオ用電池

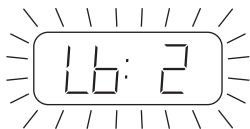
Lb: 2：ライト用電池

（⇨P14電池の交換を参照）

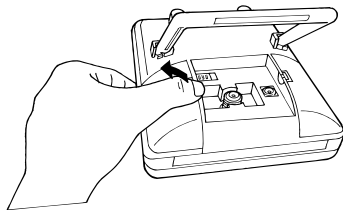
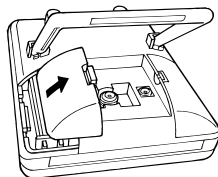
※ラジオ用とライト用両方の電池が切れる時は、交互に表示されます。

電池の交換　－新品の単4アルカリ乾電池にかえる－

点滅　ラジオ側の電池を新品に変えてください。

または

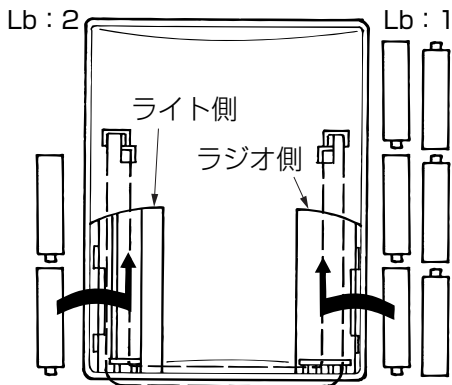
Lb: 2

点滅　ライト側の電池を新品に変えてください。

①スタンドをおこす。

②電池カバーのフックに指をかけて外側に押しながらカバーの内側を持ち上げる。

③電池カバーをはずす。

④新しい電池を⊕と⊖の向きに注意して入れる。

- 電池は必ず新品の同種類のものを⊕と⊖の向きを正しく入れてください。
- 電池は使用しなくても自然放電しますので、年に1回新品に交換してください。

※古い電池やちがう種類の電池をまぜたり、⊕と⊖の向きを間違えると故障の原因となります。

Lb：2　Lb：1

ライト側

ラジオ側

単4アルカリ乾電池　2本

単4アルカリ乾電池　6本

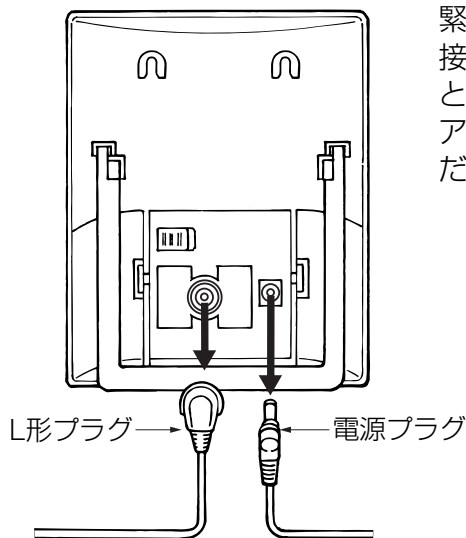
⑤電池交換後はつぎのことを確認してください。

ライト側：ライトスイッチを「入」にするとライトが点き Lb: 2 **を表示しない**

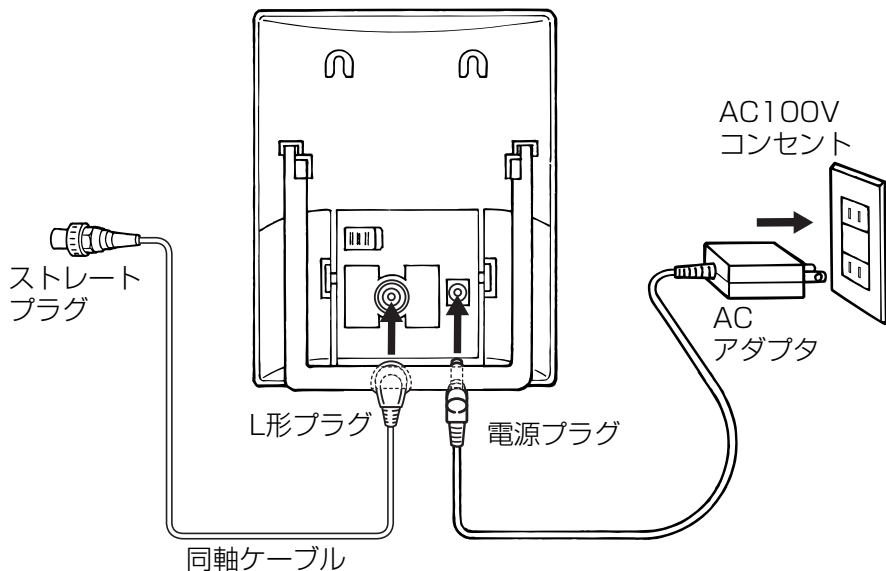
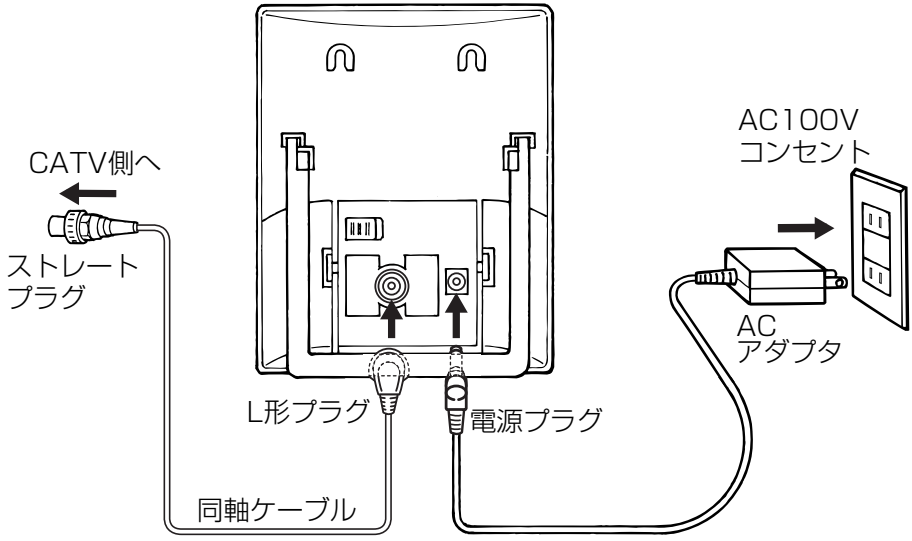
ラジオ側： Lb: 1 **を表示しない**

⑥電池カバーを開けるときと逆の順序ではめ込む。

本体を持ち出すとき　－非常時の電池動作－

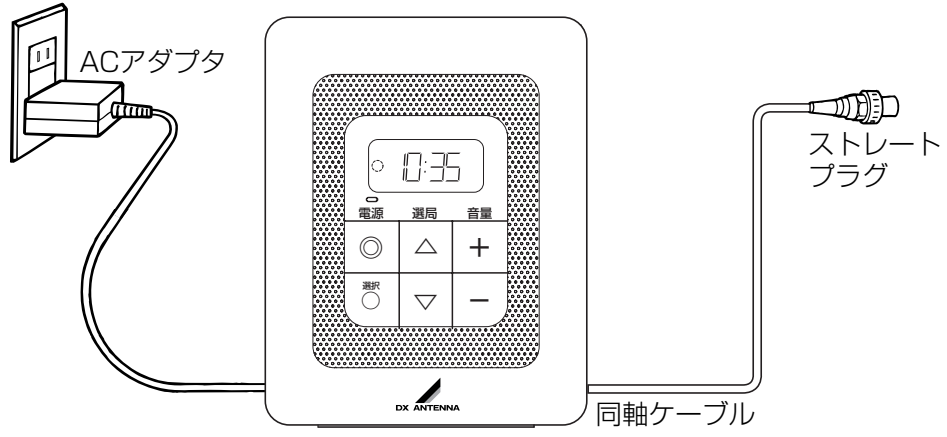
緊急時に本体を持ち出すときはうら面に接続している同軸ケーブルのL形プラグと電源プラグを抜いてください。（ACアダプタ本体もコンセントから抜いてください。）

－電源プラグとL形プラグの付けはずし－

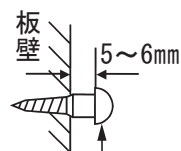
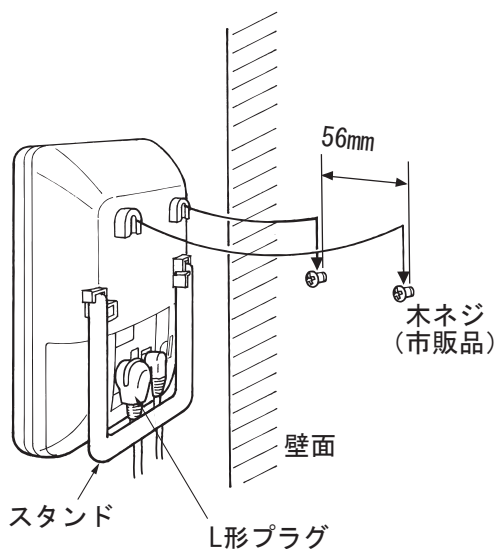
はずすときはプラグ部を持って引き抜き、取り付けるときは奥まで差し込みます。

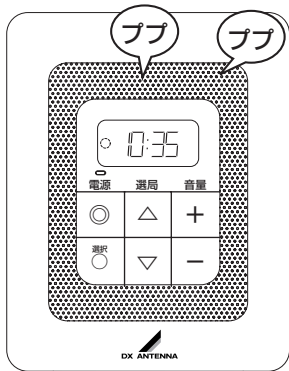
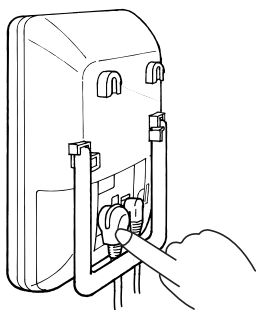
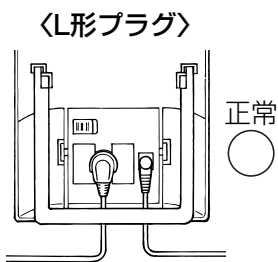
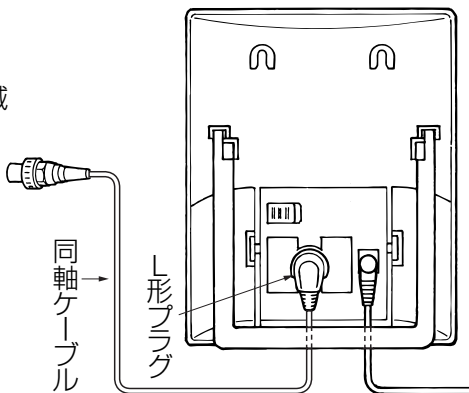
〈本体を元にもどす〉

取付方法　－ケーブルをつなぐ－

－ストレートプラグ－

①同軸ケーブルのL形プラグを本体側に、ストレートプラグを壁面のテレビコンセントに接続してください。ストレートプラグは差し込んだあとに指で動かなくなるまで右に回してください。

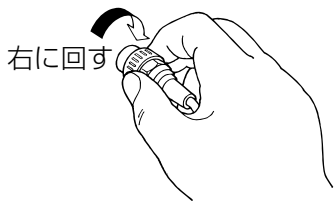
②ACアダプタの電源プラグを本体に接続後、ACアダプタのプラグをACコンセントに差し込んでください。

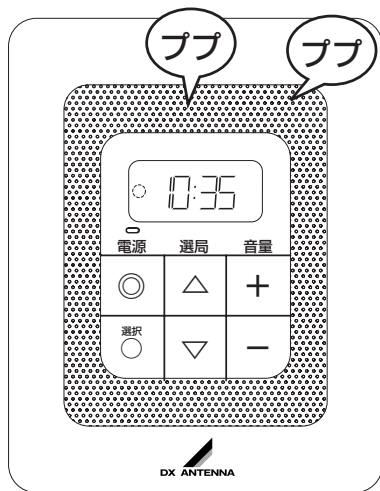
本体正面

取付方法　ー本体を壁などに付けるー

本体を壁や柱などに取り付けるときは、同軸ケーブルのL形プラグを本体側に、ストレートプラグをテレビコンセント側に接続してください。また、スタンドは折りたたんでください。

ププと音がくり返し鳴るとき　－確かめてください－

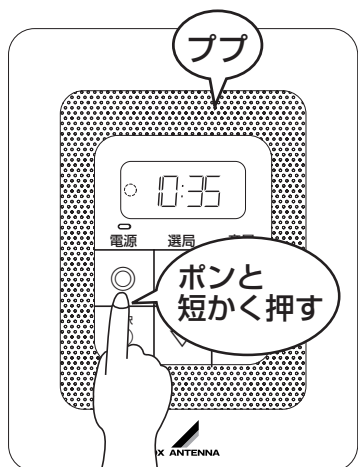
電源ランプ点滅

①30秒ごとに「ププ」と本体から音がするときは、本体うら側の同軸ケーブルがゆるんだり、はずれたりしていないか確認します。

〈L形プラグ〉

L形プラグを軽く押してください。動かないと正常です。動くときは押し込んでください。
はずれているときはL形プラグを奥まで差し込んでください。

②同軸ケーブルが傷ついていないか壁までたどってみる。
③壁のテレビコンセントに同軸ケーブルがきちんと接続されているか、①と同じように確かめてください。

ストレートプラグの先を指でつまんで軽く右に回してください。動かないと正常です。動くときは動かなくなるまで右に回します。はずれているときはプラグを差し込んで動かなくなるまで右に回してください。

プブ音が止まらないとき　－ケーブルテレビ局に問合せてください－

30秒ごとに鳴るプブ音が止まらないときは、告知放送や緊急地震速報のお知らせができません。
ご加入のケーブルテレビ局にお問合せしてください。

《ケーブルテレビ局に連絡したあと、一時的に音を止める》

通信障害のプブ音が鳴り、ケーブルテレビ局にお問合せしたあと、ケーブルテレビ局の点検・修理が終わるまでのあいだに一時的にプブ音を止めることができます。
※告知放送・緊急地震速報を受信することはできません。

プブ音が鳴っている間に◎ボタン（電源ボタン）をポンと短かく押す。

ご加入のケーブルテレビ局が定めた時間だけプブ音が一時的に止まります。設定時間が過ぎても通信障害が直らないとプブ音は再び鳴り出します。

規格特性

データ通信	データ通信速度	19.2Kbps±200ppm
	変調方式	2値FSK
	入力インピーダンス	75Ω
	受信周波数	70.5MHz
	入力レベル範囲	45〜75dBμV
FMラジオ	変調方式	FMモノラル
	受信周波数	70〜90MHｚ（100ｋHｚステップ）
	入力インピーダンス	75Ω（CATV入力時）
	入力レベル	45〜75dBμV（CATV入力時）
	表示	受信周波数をデジタル表示
電源	通常時	AC100V、50/60Hz（専用ACアダプタ使用）
	持出時	FMラジオ用：単4形アルカリ乾電池6本 ライト用：単4形アルカリ乾電池2本
	消費電力	AC100V：10W以下（スタンバイ時4W以下）
動作環境	温度	0〜40℃
	湿度	相対湿度10〜80%（結露なきこと）
外形寸法		170(H)×134(W)×50(D)mm
質量		550g（単4アルカリ乾電池8本含む、ACアダプタ別）
付属品	取扱説明書	1部
	単4形アルカリ乾電池	8本（FMラジオ用6本／ライト用2本　動作確認用）
	同軸ケーブル	1.9C-FBD 2m　1本
	ACアダプタ	1個

震度および到達猶予時間等の予測については、（特定非営利法人）リアルタイム地震情報利用協議会（REIC）の「緊急地震速報による地震危険度予測演算仕様書」に準拠しています。

※規格は改良により、変更させていただくことがありますのであらかじめご了承ください。

ご注意

1 当製品は株式会社ジュピターテレコムの緊急地震速報システムに適用します
2 緊急地震速報システムには、下記の技術的な限界や問題もあります
①直下型地震では速報の発信がS波（主要動）の到達に間に合わない場合があります
②まれに誤報が発信される場合があります
③中高層建物では予想以上のゆれになる事もあります

DXアンテナ株式会社　本社/〒652-0807 神戸市兵庫区浜崎通2番15号